

GOVERNOR'S 10 MONTHLY LETTER

Vol.4

ロータリー
特別月間
10月

米山月間
経済発展月間
地域社会の
・

RI第2650地区基本方針

未来へつなぐ

北野天満宮 もみじライトアップ



国際ロータリー第2650地区
2025-26年度ガバナー

未来へつなぐ

小嶋 学

(京都北ロータリークラブ)

新年度が始まり 2 ヶ月が経ちましたが、残暑が長引いており、この原稿が皆様の手に届く頃に、心地よい秋が訪れているか疑問が残ります。これも気候変動と言わざるを得ません。

そんな中でも 10 月 24 日は世界ポリオデーです。ロータリーは 1985 年、大々的な予防接種を通じてポリオの撲滅をめざす「ポリオプラス」を開始しました。これまでに 17 億米ドル以上を投入し、ロータリー会員は、122 カ国 25 億人以上の子どもたちに予防接種を行うために多大な時間を捧げてきました。また、アドボカシー（政府への働きかけ）を通じて、ドナー国政府から 72 億ドル以上の資金確保に貢献しています。

2016 年に報告された野生型ポリオウイルスによる発症数は 37 件となっており、毎日約 1,000 件の発症が確認されていた 1980 年代と比較すると 99.9% 以上の減少となります。

残る 0.1% のポリオとの闘いが最も困難であると言われています。これは、遠隔地、不十分な公共インフラ、紛争、文化的障壁といった要因が、予防接種活動の妨げとなっているためです。ポリオを撲滅するまでは、世界中の国が再発のリスクにさらされています。また本年の 1 月から 8 月 25 日までの累計ではパキスタンで 25 件、アフガニスタンで 3 件となっております。またアフガニスタンでは 8 月 31 日にマグニチュード 6.0 の地震も発生していて予断を許さない状況であります。

ポリオを撲滅するためにロータリーとゲイツ財団は、ポリオ根絶に向けた長年のパートナーシップを更新しました。本年カルガリー国際大会において、両団体はグローバルな根絶活動を継続的に支援するための共同のコミットメントを発表しました。ロータリーは年間 5,000 万米ドルの資金調達を継続し、これにゲイツ財団から 2 倍の額が上乗せされます。この新たな合意により、3 年間で最大 4 億 5,000 万米ドルを世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）に充てることができます。これらの資金は、撲滅活動の運営、医療従事者の確保、研究所の設備、保健従事者と親への教育のために使用されます。資金の確保においては、政府や企業、個人が大きな役割を果たします。活動するロータリー 100 万人以上のロータリー会員が、ボランティア、寄付、募金活動を通じて撲滅活動を支援しているほか、大勢の会員がポリオ感染のリスクが高い海外の地域社会に赴いて、予防接種活動に参加しています。また、ユニセフなどの団体と協力し、紛争や地理的・経済的要因によって隔離された地域で予防接種への認識を高めるためのコミュニケーション活動を実施しています。さらに、ボランティア動員やワクチン輸送などの手配面でも支援を行っています。「あと少し」キャンペーンは、ポリオ撲滅に対する一般の認識を高めるために多くの著名人も参加頂いております。

是非ともクラブ、ローターアクトクラブ、インタークトクラブにおいてもこの機会にポリオ根絶の意義を人々にお伝え頂き、ご支援を賜りたく存じます。

10月は米山月間です



米山奨学事業のシンボルマーク

重なり合うハートは「ロータリアン」と「奨学生」です。外国人留学生の支援・交流を通じて国を超えた信頼関係を築き、世界の平和を願う“心”を育てるという、事業創設の願いが込められています。手は、そうした“心”を生み出すと同時に、当事業がロータリアンの手で支えられていることを示しています。



皆様には日頃より米山奨学事業に対しまして、多大なるご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。10月は米山月間です。すでに米山奨学生による卓話を終えられたクラブ、もしくはこれから、というクラブもあろうかと思います。米山月間での卓話は奨学生の義務の1つで、奨学生はお世話になっているクラブでの卓話と、現在奨学生のお世話をされていないクラブへ訪問して行う卓話の合計2回が義務付けられています。

奨学生には出身国や家族、趣味などについて、どうして日本を留学先に選んだのか？大学ではどのような勉強や研究をしているのか？将来の夢や目標（自分の研究を進めて将来母国、日本、世界へどのように貢献したいか？）、米山奨学金を受給できることによって起きた変化や日本文化やロータリー会員との出会いによって感じたこと等を30分の卓話時間の中で発表をもらいます。

この卓話はロータリアンに奨学生自身の事を深く知って頂き、そして奨学金がどれだけ役に立っているのか、寄付をして良かったことを実感して頂ける良い機会になると思います。

7月に行った米山奨学生・カウンセラー集会では卓話についてのガイダンスを行いました。全員が緊張しながらも真剣に取り組む様子が伺えました。卓話当日は皆様に温かい寛容の気持ちで卓話を聞き頂ければ幸いです。

皆様のご支援のおかげで、奨学生は年々増えています。現在お世話頂いていないクラブにも次年度は是非積極的に受入れて頂きたく、切にお願い申し上げます。

米山奨学事業に対しては、様々なご意見を頂く事も多くありますが、引き続き、当事業へのご理解とご支援を何卒宜しくお願ひいたします。

地区米山奨学委員長 片山 隆永
(福知山RC)



IM第3組 開催報告

開催日 2025年8月23日（土）

場 所 ホテルオークラ京都

今年度は京都モーニングRCがホストを務めさせて頂きました。

昨年の暮れに実行委員会を立ち上げ準備を進めてきました。前年度のホストクラブ京都嵯峨野RCの担当者様に色々進め方など資料を頂きながら進めてまいりました。京都嵯峨野RCのご担当者様にお礼を申し上げます。



今回第3組の大会テーマを決めるに当たりクラブ内でアンケートを取りました。結果「平和」「グローバリズムとナショナリズム」「紛争と平和」など現在の世界情勢にとても関心が高いことが解りました。そこで「混迷する世界情勢 ロータリーは何をすべきか」を大会テーマとして掲げました。大変複雑で難しいテーマですがロータリアンに求められるのは何かを考え、取り組むことが必要ではないかと思い決定いたしました。

当日の本会議では小崎ガバナーを始め大勢の地区役員のご参加と共に総勢780名に登録頂きました。小崎ガバナーの点鐘に続き中野博美ゼネラルリーダーの基調講演、そして大会テーマに沿った講演を藪中三十二先生にして頂きました。グローバルな視野に立った世界情勢を解りやすくご説明頂き、ロータリーの進むべき方向性が再確認ができました。アメリカ、ロシア、中国など大国に翻弄される各国の対応の複雑さにも言及して頂きました。

講演を聞いたロータリアンにはとても参考になったのではないかと思います。我々ロータリアンとして何をどうすべきかを考えるきっかけになったのではないかと思います。

また本会議の後の懇親会では猪奥ガバナー補佐のご挨拶、小川睦美ガバナー補佐の乾杯で始まりました。途中、京都モーニングRC堀場会員の堀場製作所HORIBA Group Jazz Orchestraの皆さんによる軽快な演奏に耳を傾けながら親睦を深めました。

タイムリーなテーマと大勢の皆様のご参加で有意義な会議になったと思います。

ご参加の皆様有難う御座いました。

IM第3組 実行委員長 坂田 基禎
(京都モーニングRC)



地区ロータリー財団セミナー開催報告



開催日 2025年8月2日（土）

場 所 リーガロイヤルホテル京都 春秋の間

プログラム

13:20	開会点鐘
13:35	財団奨学生の近況報告
13:50	議題1：地区補助金の取り組み
15:00	議題2：グローバル補助金・国際奉仕・財団奨学生・ポリオプラス
16:00	質疑応答
16:20	講評／閉会点鐘

昨年度より財団セミナーをディスカッション形式で開催することとし、これに伴い参加の会員には事前にイーラーニングを受講して、参加前に当日の議題に関する予習をお願いいたしました。

当日は1クラブの欠席がありましたが、95クラブから合計204名が出席、24テーブルに分かれて、議題に沿って、それぞれのクラブの取り組みや経験をお話しいただくなど活発な意見交換をし、テーブル毎に意見をとりまとめて発表していただきました。

参加された会員の声としては、

「色々なクラブの取り組みや行動を聞くことができて今後の参考となった。」

「自クラブの取り組みに関して、情報を伝えることが出来た。」

「テーブルのメンバーが良かったので参考になる話が沢山聞けた。」

「ディスカッション形式でご教示いただき勉強になった。」

「ラーニング形式でのセミナーは意義があると思う。」

など、好意的な意見が多数ありました。

他方、次のようなご意見も頂戴しました。

- ・ ウェブ会議が望ましいと思います。
- ・ セミナー内容が難しいです。
- ・ 事前学習が必要ならば、書面でお願いします。

上記のご意見は、今後、財団委員会において参考にさせていただこうと思います。

地区ロータリー財団委員長 松原 六郎 (福井フェニックスRC)





楽しく充実したクラブライフを過ごすために

京都市域第1グループ ガバナー補佐 猪奥 隆志 (京都中RC)

私が所属する京都中ロータリクラブは現在の会員数が35名あります。私が入会した19年前は45名程会員数があり創立も15年程でまだチャーターの会員が積極的に活動されて奉仕活動や委員会、同好会、またシスタークラブとの交流も盛んに行われ多数の会員や家族も参加されていました。私も妻と共にクラブの皆さんと海外旅行やゴルフなど大変楽しいクラブライフを過ごしていました。

しかしながらコロナ渦や高齢化などで徐々に会員数が減ってきて思わぬ会員が退会するなど40名を切つてからが早くて30名を切るのではとの危機感をクラブ全体が感じ、どうしようもない焦燥感があったように思います。

先輩ロータリアンが減っていくとクラブで築いてきた伝統（クラブ内の心地良さや規律）がなおざりなり、他クラブの交流や奉仕活動のやり方などに充足感が薄れ、ただクラブ内の運営と目的のみに陥りやすくなっていくように感じた時がありました。

会員それぞれがクラブに対する接し方は違うにしても充実感は必要だと思います。

ロータリークラブも職業分類の規定も緩やかになりましたし、ご家庭の主婦や女性会員も増えました。伝統を大切にしながら大きな変わり目を乗り越える時がきたと思います。

特に女性会員の能力は素晴らしいものがあります。

その変わり目として先輩会員と後輩会員、女性会員との交流の場を多く機会を持つことで気づきや知識を増やし、伝統を守りながら新たな伝統を構築し、その事を土台として奉仕活動に励み、新しく入ってくる仲間達と共に充実したクラブライフを送りたいと思います。



「他者のために生きる」を考える

京都市域第2グループ ガバナー補佐 小川 瞳美 (京都西南RC)

「他者のために生きる」という言葉を、ロータリーに入会しよく考えさせられる機会があります。国際ロータリーの「最も良く奉仕する者、最も多く報いられる」と「超我の奉仕」という標語は理念であり行動指針とされます。特に「超我の奉仕」は自己の利己心よりも他人を助けることを重視する精神を指します。この「超我の奉仕」を実践するために、自己の職業経験を活かした様々な奉仕活動を展開しながら、地域社会や国際社会に貢献し自己の成長とともにより良い社会を築いていくとします。どの標語にも良いことを、また善意の心を持って奉仕することが肝心であるとされます。

ここで身近に良いことをする場として寄付がございます。ロータリー財団やポリオプラスそして米山奨学金も大切です。またなにより昨今災害の多い日本において、都度の迅速な災害お見舞金の寄付は災害地の助けとなっていることでしょう。

中でも私が気にはいいますのは「ロータリー希望の風奨学金支援」です。これはご存じのように、2011年3月11日発生の東日本大震災で両親または片親を亡くした子どもを対象とした奨学金で、未来を担う日本の青少年の方々の修学を支援するものです。発生時0歳だった子どもが大学生を卒業するまでの22年間を支援する奨学金で、私も身近なことからということで、例会場で少なくとも良い心で寄付している次第です。

時として悪い心や自己の利己心が出てしまう私を戒めまた成長へと導いてくれる、そして「他者のために生きる」を考えさせて頂ける場所の一つが、例会場でありまさにロータリーという場ではないかという思いです。

2025年7月会員数の増減および出席率表

京都府(42クラブ)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	出席率%
綾部	25	0	0	25	25	0	0	92.42
福知山	42	1	0	43	42	1	0	92.45
福知山西南	49	1	0	50	49	1	0	91.38
亀岡	31	1	0	32	31	1	0	100.00
亀岡中央	13	0	0	13	13	0	0	83.33
京丹後	22	1	0	23	22	1	0	97.00
京都	193	5	1	197	193	5	1	99.59
京都伏見	88	2	0	90	88	2	0	86.52
京都平安	18	0	0	18	18	0	0	90.10
京都東	86	1	0	87	86	1	0	91.10
京都東山	52	0	0	52	52	0	0	82.65
京都北東	17	0	0	17	17	0	0	66.55
京都イブニング	12	1	0	13	12	1	0	83.07
京都城陽	27	0	0	27	27	0	0	82.00
京都桂川	35	2	0	37	35	2	0	80.25
京都北	56	5	1	60	56	5	1	80.72
京都南	252	3	1	254	252	3	1	79.22
京都モーニング	39	3	0	42	39	3	0	75.15
京都紫野	37	3	0	40	37	3	0	82.00
京都中	35	0	0	35	35	0	0	92.77
京都西	94	3	1	96	94	3	1	100.00
京都乙訓	32	2	0	34	32	2	0	70.97
京都洛中	73	0	0	73	73	0	0	100.00
京都洛北	73	2	0	75	73	2	0	100.00
京都洛南	27	0	0	27	27	0	0	84.91
京都洛西	51	1	0	52	51	1	0	83.13
京都洛東	38	0	0	38	38	0	0	80.92
京都嵯峨野	20	0	0	20	20	0	0	83.33
京都さらくら	30	4	0	34	30	4	0	80.35
京都西北	21	1	0	22	21	1	0	83.09
京都西南	48	1	0	49	48	1	0	90.33
京都紫竹	23	1	0	24	23	1	0	87.50
京都朱雀	42	2	1	43	42	2	1	81.32
京都田辺	15	0	0	15	15	0	0	83.50
京都山城	12	0	0	12	12	0	0	79.55
京都八幡	15	0	0	15	15	0	0	93.94
舞鶴	28	0	0	28	28	0	0	86.54
舞鶴東	32	0	0	32	32	0	0	86.31
宮津	21	2	1	22	21	2	1	82.47
園部	20	2	0	22	20	2	0	90.91
宇治	29	0	0	29	29	0	0	82.71
宇治鳳凰	31	0	0	31	31	0	0	79.58
小計	1,904	50	6	1,948	1,904	50	6	

奈良県(14クラブ)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	出席率%
あすか	45	0	0	45	45	0	0	92.87
五條	19	0	0	19	19	0	0	77.33
平城京	7	4	0	11	7	4	0	84.85
橿原	49	1	1	49	49	1	1	84.11
奈良	132	8	1	139	132	8	1	89.85
奈良中央	20	0	0	20	20	0	0	52.00
奈良東	19	3	0	22	19	3	0	90.62
奈良西	20	0	0	20	20	0	0	72.37
奈良大宮	64	0	0	64	64	0	0	99.12
桜井	9	0	0	9	9	0	0	88.88
大和郡山	40	0	0	40	40	0	0	88.34
やまとまほろば	22	0	0	22	22	0	0	96.48
やまと西和	26	0	0	26	26	0	0	84.22
大和高田	87	1	0	88	87	1	0	95.27
小計	559	17	2	574	559	17	2	

滋賀県(21クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	出席率%
びわ湖八幡	92	2	1	93	92	2	1	84.54
(びわ湖八幡フォローラーティー)			(2)		(28)		(2)	
五個荘能登川	31	1	0	32	31	1	0	80.64
東近江	40	0	0	40	40	0	0	77.97
彦根	46	0	0	46	46	0	0	83.84
彦根南	54	0	0	54	54	0	0	72.00
甲賀	32	3	0	35	32	3	0	87.70
湖南	41	2	0	43	41	2	0	93.44
草津	31	1	0	32	31	1	0	88.54
守山	44	2	0	46	44	2	0	97.93
長浜	54	2	0	56	54	2	0	88.81
長浜東	58	0	0	58	58	0	0	88.28
長浜北	29	2	2	29	29	2	2	74.81
近江八幡	37	1	0	38	37	1	0	97.22
大津	114	0	0	114	114	0	0	100.00
大津中央	21	0	0	21	21	0	0	78.57
大津東	18	1	0	19	18	1	0	89.47
大津西	19	0	0	19	19	0	0	88.21
栗東	59	1	0	60	59	1	0	82.63
高島	51	1	0	52	51	1	0	100.00
野洲	31	3	0	34	31	3	0	97.01
八日市南	47	0	0	47	47	0	0	88.60
小計	949	22	3	968	949	22	3	

福井県(18クラブ)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	出席率%
福井	126	9	0	135	126	9	0	81.58
福井あじさい	51	0	0	51	51	0	0	69.61
福井エニックス	46	3	0	49	46	3	0	80.94
福井東	46	1	0	47	46	1	0	84.49
福井北	102	1	0	103	102	1	0	74.55
福井南	23	1	0	24	23	1	0	67.71
福井西	22	0	0	22	22	0	0	81.06
福井水仙	23	0	1	22	22	0	1	73.86
勝山	22	1	0	23	22	1	0	81.82
丸岡	27	1	0	28	27	1	0	83.16
三国	17	0	0	17	17	0	0	96.00
大野	39	2	1	40	39	2	1	81.25
鯖江	34	0	0	34	34	0	0	66.66
武生	43	0	0	43	43	0	0	77.98
武生府中	23	0	0	23	23	0	0	84.05
敦賀	23	1	0	24	23	1	0	74.87
敦賀西	13	0	0	13	13	0	0	92.31
若狭	12	3	0	15	12	3	0	81.10
小計	692	23	2	713	691	23	2	

Eクラブ(1クラブ)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計	出席率%
日本ローテリーEクラブ2650	25	0	0	25	25	0	0	
小計	25	0	0	25	25	0	0	

合計(96クラブ+1衛星)

クラブ名	前月末会員数	入会	退会	7月末会員数	期首会員数	入会累計	退会累計
合計	4,129	112	13	4,228	4,128	112	13

■表作成にあたって

- ・会員数に、名誉会員は含まれておりません。
- ・入退会者数、7月末会員数および入退会者累計数は7月末現在です。
- ・「期首会員数」は、2025年6月末会員数より、7月1日退会者1名を引いた数です。
- ・「退会累計」は、7月1日退会者1名も含んでおります。
- ・ローテリー衛星クラブ(セライトクラブ)の入退会者数はスポンサークラブに含んでおります。

巡り歩き歳時記

「大仏さま秋の祭り、東大寺・奈良公園の紅葉」

奈良

華やかさを増す東大寺・奈良公園の秋

秋風が心地よい10月は、歴史の都・奈良がさらに輝きを増す季節です。

毎年10月15日には、東大寺で「大仏さま秋の祭り」が執り行われます。「すべての生きているものの幸せを願って大仏さまを造ろう」という「詔(みことのり)」が出されたことにちなんだお祭りで、表千家による献茶式や、伝統的な慶讃能が奉納されるなど、雅な雰囲気に包まれます。

また、10月下旬からは、奈良公園の紅葉が見頃を迎えます。広大な敷地には、桜やイチョウ、

モミジなど様々な木々が植えられ、長い期間にわたって紅葉を楽しめるのが特徴です。特に吉城川を覆うモミジのトンネルや、大仏池に映り込む大仏殿と紅葉の景色は格別です。

歴史と自然が織りなす美しい秋の奈良で、心洗われるような穏やかなひと時を過ごしてみてはいかがでしょうか。

大仏さま秋の祭り

2025年10月15日(水)

会場 東大寺(奈良県奈良市雑司町406-1)

※状況により、内容が変更される場合があります。
詳しくは、東大寺公式ウェブサイトをご覧ください

2025年7月 会員の動き

入会者

クラブ名	氏名	職業分類
福知山	永原 孝雄	損害保険
福知山西南	岡本裕一郎	電気工事
亀岡	石川 泰之	不動産管理業
京丹後	宇野 文浩	精密機械製造
京都	濱田 悠也	証券会社
京都	槇 覚	信託銀行
京都	丸山 寛朝	新聞発行
京都	松本 剛朗	百貨店
京都	佐渡谷有希	航空事業
京都伏見	辻井季久生	生花販売
京都伏見	原 匠史	西洋料理
京都東	小塚 泰彦	コンサルティング業
京都イブニング	森口 誠	障害福祉
京都桂川	橋本 知実	日本料理
京都桂川	村林 理恵	生命保険
京都北	藤本 泰義	半導体用製造
京都北	堀 晋也	証券業
京都北	河相 文隆	科学機器製造
京都北	魚嶋 伸彦	病院
京都北	鈴木 香織	司法書士
京都南	阿久津勝己	ライフアドバイザー
京都南	荒川 皓太	紳士服
京都南	吉田 隆	石油製品小売
京都モーニング	阿部 將人	建築施工
京都モーニング	葛原 怜	保険
京都モーニング	瀬在丸 豊	医療機器
京都紫野	北條 達人	税理士
京都紫野	清水 智士	引越業
京都紫野	高井 俊光	神道
京都西	久村 寿博	木造建築
京都西	井上 克巳	信託金庫
京都西	佐野 正裕	酒類食品販売
京都乙訓	小野 富雄	建築
京都乙訓	嶋田 剛士	事務用品販売

○月信9月号掲載の武生府中RC山口斉様につきましては所属クラブからの依頼によりご逝去会員から退会者に訂正いたします。

※名譽会員

(順不同・敬称略)

ご逝去会員

クラブ名	氏名
京都西	森田 耕司
京都洛西	小山 正博*
京都朱雀	後藤 宗国
橿原	野口 洋司

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地

関電不動産京都ビル5階520号室

TEL:075-343-2650 / 075-353-2650 FAX:075-343-2651

E-mail:gov2025-26@rid2650.gr.jp



国際ロータリー第2650地区

2025-26年度 ガバナー

小崎 学